

第23回全国障害者スポーツ大会佐賀大会
北信越・東海ブロック予選会 知的障害者バスケットボール競技 開催要項

1 目的

第23回全国障害者スポーツ大会佐賀大会に出場する北信越・東海ブロック代表チームの選考を目的とする。

2 主催

(公財) 日本パラスポーツ協会、(一社) 全日本知的障がい者スポーツ協会

3 主管

新潟県障害者スポーツ協会

4 協力

(一財) 新潟県バスケットボール協会、新潟県障がい者スポーツ指導者協議会

5 後援

新潟県、新潟市

6 協賛

(公財) JKA

7 日時

令和6年4月13日(土)～14日(日)

(1) 4月13日(土)	受付	11:00	～	
	代表者会議	12:00	～	
	開会式	12:30	～	
	第1試合	13:00	～	14:40
	第2試合	14:40	～	16:20
	第3試合	16:20	～	18:00
(2) 4月14日(日)	開場	8:00	～	
	第4試合	9:00	～	10:40
	第5試合	10:40	～	12:20
	第6試合	12:50	～	14:30
	閉会式	14:40	～	

※交流試合については参加チームと相談のうえ設けることができる。

なお、遠方のチームは、帰県時間を考慮し、閉会式へ参加しなくてもよい。

※参加チームの増減により日程を変更する場合がある。

8 会場

亀田総合体育館

所在地／新潟県新潟市江南区茅野山3-1-13 電話／025-381-1222

9 参加資格

本予選会に参加できる選手は、(1)～(5)に該当する者とする。

- (1) 年齢は令和6年4月1日現在で13歳以上の者。
- (2) 厚生事務次官通達（昭和48年9月27日厚生省発児第156号）による療育手帳の交付を受けた者。あるいは、その取得の対象に準ずる障がいのある者。
- (3) 申し込み時に参加する県・指定都市に現住所（住民票のある地）を有する者。
ただし学校に通学している者および施設に入所・通所している者は、その学校および施設の所在地の県・指定都市でも参加できるものとする。
- (4) 全国障害者スポーツ大会開催基準要綱細則3（1）②に規定する北信越・東海ブロックの県および指定都市チーム。
- (5) 大会出場に際して、特に健康上問題のない者。

10 参加制限

選手は1人1競技のみ参加できる。

11 申し込み

別紙、参加申込書（様式1）、来場方法及び弁当の申し込み（様式2）に必要事項を記入のうえ、

令和6年3月13日（水）【必着】までに、メールにて新潟県障害者スポーツ協会へ申し込むこと。

メールアドレス：sports@n-fureaiplaza.com

12 参加費

無料

13 健康・安全管理

- (1) 参加選手および役員等の健康・安全管理については、参加するチームにおいて十分管理すること。
- (2) 主管団体は、傷害保険に加入するとともに医師または看護師を配置し、必要に応じて応急処置のみを行う。

14 全国大会との関連

本予選会は、第23回全国障害者スポーツ大会佐賀大会（令和6年10月26日～28日）に出場するチームを決定する、北信越・東海ブロック大会の知的障害者団体競技予選会とし、優勝チームがその出場権を得る。ただし、優勝チームが本大会への出場を辞退した場合は、順位が上位のチームに出場権が与えられる。

全国大会出場チームのメンバーは、原則として本予選会と同一とする。

15 メディア・報道

大会開催中、報道機関が来場し、参加者の情報（プログラムに記載の範囲および写真等）がテレビ、新聞等で報道される場合があるため、あらかじめ了承のうえ申し込むこと。

16 その他

この要項に定めるほか、大会の実施に必要な事項は別に大会要領で定める。

4月12日（金）17：30～14日（日）の**緊急連絡先「080-7832-3085」**

第23回全国障害者スポーツ大会 北信越・東海ブロック予選会
バスケットボール競技実施要項

1 競技規則

本要項に定める以外は、令和6年度版全国障害者スポーツ大会競技規則（（公財）日本パラスポーツ協会制定）により実施する。

2 チーム構成

- (1) 各チームの構成は、コーチ1名、アシスタントコーチ1名、マネージャー1名、トレーナー1名および選手12名以内とする。
- (2) コーチ、アシスタントコーチ又はマネージャーが選手を兼ねる場合は、選手名簿に登録されていなければ選手として出場できない。この場合、選手の数は、選手を兼ねるコーチ、アシスタントコーチ、マネージャーを含めて12名以内とする。
- (3) 男女別に編成する。

3 組み合わせ

組み合わせは主催者が決定し、事前に各チームへ通知する。

4 代表者会議

令和6年4月13日（土）に行い、その場において申し合わせ事項を設けることができる。

5 競技方法

- (1) 男女ともにトーナメント方式とし、3位決定戦は行わない。
- (2) 試合時間は、10分の4クォーター、インターバルは2分、ハーフタイムは10分とする。第4クォーター終了時に得点が同点だった場合、1回5分間のオーバータイムを決着がつくまで必要な回数行う。

6 服装等

- (1) 各チーム、濃色と淡色（白色が望ましい）2種類のユニフォームを用意しておかなければならない。
- (2) プログラム上で番号の若いチームが淡色を着用すること。ただし、両チームの話し合いで双方が了解した場合は、色の濃淡を交換することができる。
- (3) 番号は0、00および1から99までのいずれかを使用すること。

7 試合球

（公財）日本バスケットボール協会検定球を使用し、男子は7号球（モルテンB7G5000）、女子は6号球（モルテンB6G5000）を、主催者が用意する。

8 チームベンチ

チームベンチは、プログラム上で番号の若いチームがオフィシャルテーブルに向かって右側とする。

9 表彰

表彰式は競技終了後に競技会場で行い、優勝チームに賞状を授与する。

10 その他

- (1) 競技場内には、チームベンチエリアに入る者のほか、大会役員、競技役員、競技補助員、許可を受けた報道関係者等以外は入場することができない。チームスタッフとは別にトレーナーを帯同しているチームは、決められた位置に1名を待機させることができる。なお、トレーナーは参加申込時に登録したものに限る。
- (2) 大会日程の都合上、交流試合は行わないこととする。
- (3) この要項に定めるもののほか、競技の実施に関し必要な事項は別に定める。
- (4) 荒天時他不測の事態が生じた場合の取り扱いは、主催者において別途決定する。